

タイヤ生産戦略



「商品・地域事業戦略」「高付加価値品比率の最大化」を下支え、環境変化や受注の振れに強い生産・物流体制を構築します。

各地域のお客様に「良いものを、安くタイムリーに供給する」ために、当社の強みである多品種ロット生産方式を深化させるとともに、IoTやAIなどデジタル技術の活用と自動化で生産効率を革新し、競争力の高い商品をグローバルに供給します。

タイヤ生産本部長 取締役執行役員 **中村 亨**

重点施策

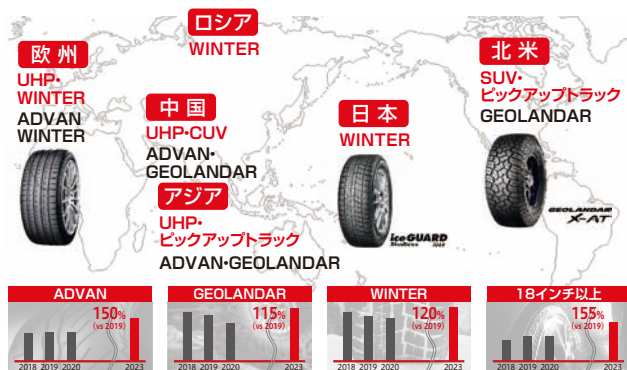
1	「ADVAN」「GEOLANDAR」「ウインタータイヤ」(高付加価値品)生産の最大化	<ul style="list-style-type: none"> ● 強みである多品種ロット生産方式を深化 ● 生産組み入れ制約を極小化(設備投資)
2	地域事業戦略に沿ったグローバル生産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界各地の工場の能力をフル活用し地産地消化 ● 国内の生産能力最大化と高付加価値品へシフト ● ミシシッピTBR工場の安定生産を確保
3	ものづくりのデジタル(IoT/AI)化を推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場の見える化、現場改善を効率化し、徹底的にムダを削減、効果的に改善と自動化を進める
4	CSR経営(工場運営)	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル教育の推進、海外技能実習生の受け入れ ● 社会貢献活動、カーボンニュートラルを推進

2021年12月期における成果と今後の施策(課題)

成果

- 新型コロナ禍や物流混乱の中でも操業を維持し、目標生産総本数を達成しました。
- 移動が制限される中、国内工場の現場の強化を進め、特に高付加価値品へサイズミックスを改善(設備投資)しました。
- 原材料・エネルギー費の高騰に対応し、原材料費節減、仕損じ屑削減を進め、過去ベストの屑率(前年比23%減)を達成。廃棄物・エネルギーを大幅に削減しました。

■ 商品・地域事業戦略(タイヤ消費財)



今後の施策(課題)

- 国内工場の生産能力の最大化と高付加価値品へのシフトをさらに進めます。
- 国内で確立したIoT/BIモデルを順次海外工場へ展開します。同技術を駆使し、さらに徹底した仕損じ屑(産業廃棄物)の削減やエネルギーの削減を進め、トラブル解析、開発業務などの効率化・スピードアップ化を図り、業務を革新していきます。
- モデル工場(新城南)での完全カーボンニュートラル化の実現に向けて計画をスタートします。

■ 製造データの活用基盤整備とデータドリブン文化の醸成

